



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『夢をかたちに』

～ Make Dreams Real ～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年9月1日

No. 7

『エンジョイロータリー』

～Enjoy Rotary～

東京六本木ロータリークラブ会長

W E E K L Y R E P O R T



平成20年7月14日

卓話『フランスのロータリー』

パリRC会員・ESMOD INTERNATIONAL PRESIDENT

仁野 覚様



仁野でございます。私、通算26年フランスに
おりまして、今、デザイナーやパタンナーなど
を養成する学校の仕事をしております。

今日の命題はパリのロータリークラブ。私、
約13年、パリのロータリークラブにおります。
今日こちらにお邪魔して1分も遅れないでスタート
したので、やっぱり日本だなんて感心しました。
フランスの場合、時間通りに始まるのは見たこと
がない。まず入口にバーカウンターがあって、
みんな食前酒を飲みながら例会の始まるのを待
っております。例会はワインが飲み放題で食事も
フルコース。50分ぐらいゆったり食事をして、
あとの30分が卓話です。必ず質疑応答があって、
卓話の後に会員が手を挙げて出てくるんですね。
そして、あなたはこう言ってるけど、そのデー
タは私のデータと全然違う。だから私はあなたの
言うことに賛同しないと。日本だったら考え
られないでしょ。それを聞いたとき、フランス
社会のあり方、討議の中で真理を追求していく、
ある種の知的なゲームを楽しむ国民性なのだ
と納得しました。

例会はロータリーソングも国旗もなし。会長、
幹事、卓話者、ゲスト、それに会員の中から順
番で大体8名ぐらいが演壇上で食事。会長は金
ぴかのベルトにメダルをぶら下げて、一寸形式ば
ってるかなという感じです。

あとニコニコボックスもないんですね。どうい
うふうに基金を集めるかということ、会費と、あと
バレンタインデーにはクラブがチョコレート屋さ
んとタイアップして皆さんに買っていただいたり
する。一番お金が集まるのが11月に恒例のワイ
ンの競り売りです。フランスの場合、大体皆さん
地下のカーブを持っていて、会員の方も昔買った
ワインが結構あるんですね。それを持ってきて1
0万円前後するワインを5,000円ぐらいから競り
始めるんです。大体200本ぐらい出ますから200
万はくだらない。このイベントだけでロータリー
のいろんな活動に使える資金が集まる。

何よりもびっくりし
たのはポール・ハリス・
フェローです。我々の
クラブでフェローにな
れるのは年に1人。寄
付金を出してもなれな
い。言ってみればパ
リ・ロータリークラブ
の年間MVPがフェ
ローをいただくので、
それをいただけるのは
大変名誉なことです。



会員は180人から90人おりまして常時150人ぐ
らいは出席します。特徴的なのは会員増強をう
るさく言わないこと。退会者があれば声を掛けて、
会員の数は安定しています。

いろんな交流会、催し物、旅行は毎年よく企
画されていて、年に3回ぐらいは国際的な旅行
をセットして大体同伴で行く。音楽会だとか演
劇の鑑賞会、美術館巡りもありますし、同好会
もブリッジやハンティング、ワイン、自転車な
どがあります。年に1、2回のゴルフ大会も、
ゴルフをやる女性、奥様が参加されて、同伴で
やります。

顕彰活動はパリ・ロータリークラブ文学賞と
いうのがありまして、年1回、素晴らしい本を
書いた方を選んで顕彰したりします。一寸変っ
たところでは市民賞という、市民として素晴ら
しいことをされた人を顕彰しようということで、
先日火事のときに高齢者を救助した16歳の少年
を顕彰しました。

私、ロータリークラブのメンバーになったお
陰で、こういう広い世界の方々とお付き合いが
できたり、浅田さん初め金沢ロータリーの方々
が妻を日本ファンにしてくださったお陰で、独
身生活に終止符を打つことができまして、本当
にロータリーのお陰だと思っております。あり
がとうございました。